

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 1 月 4 日

事業所名 てらびあぼけっと 住吉駅前教室

保護者等数(児童数) 52(56) 回収数 36 割合 69.2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34件	1件	件	1件	みんなで共同部分も広く、個別学習の時は完全個室なので狭く感じた事はありません。広く身体を動かせるスペースがある。事業所自体広くはないが子供が活動しやすいように工夫されている。室内運動も出来る広さが確保されていると思う。集団の遊びを見たことがないので分かりません。個別の部屋も狭いですが、二人なので十分なのかと思いますが、フィードバック時、子どもに聞こえてしまうので先生に質問がしづらいです。清潔で広々していますし、個別指導のお部屋もしっかり整頓されています。	広い療育室と個室とを活動内容によって使い分けています。感染症対策としてフィードバックを各個室で行なうようにしております。お子様本人の目の前で話しにくいことはお声かけいただければ別室での対応もいたします。ノートやメール等でお知らせください。教室からも定期的に面談等のご希望がないか、月のお便り等を通してうかがうようにいたします。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	34件	1件	件	1件	各自に1人ついてくださり、それ以外に自由に動ける先生が必ず何人かいる。活動中に子ども1人につき、先生が1人担当し、十分である。資格取得にも積極的なようで安心できる。集団と個別とでできるので成長につながりやすい。スタッフにより指導方法が異なるときがある。OTの先生がついてくださる日は、内容や当日のフィードバックも分かりやすいのですが、保育士の先生の場合はただ遊んでいるだけでは？と正直続けるか悩んだ時もありました。ただ本人に聞くこともとめてくれるそうで、それが子どもの自信に繋がります。自尊心を高めていただいている。と今は思っています。言い方がきつい先生がいますが、我が子はあつたことがないので本人は喜んでます。一部の指導員に、過度な既成指導を生徒に押し付けている場合があるように感じます。もちろん統計に基づく指導が基礎になっている事は理解していますが、全ての生徒が規定通りにはまる事はありません。療育に通う子達は、それがもっと顕著だからこそ個性を大切にしないからと厳しく注意する指導員の姿には、相手を理解し温かく指導するような態度が全く見られず、型にはまらない相手へのイライラしか見られませんでした。逆に理解されない、一方的な既成概念を押し付けられる療育の怖いところ、のトラウマが芽生えています。また自分と折り合いが悪い生徒、保護者には視線を合わせて挨拶をしないなど、療育以前に経営側としてあり得ない態度です。療育とは言えボランティアではありません。個人や公的機関から多額の支払いを受けて運営しているのですから、個人の感情のコントロールは指導側の義務です。	ご意見をいただき、ありがとうございます。担当者によって指導方法が異なる、ただ遊んでいるだけで活動内容のねらいがわからない、一部の指導員の態度が既成指導の押し付けでトラウマになっている、挨拶も視線を合わせない等のご指摘を非常に重く受け止めております。てらびあぼけっとはABAを軸にすべての職員が統一した対応をするように努めております。また運営方針としてお子様を受容して可能性を見つけて差し上げられる集団になることを目指しております。今回のご指摘はそのどちらにも当てはまらない状況であり、全職員で自分たちの支援を振り返る機会となりました。常に職員同士で自分たちの支援をチェックし合い、研鑽してまいります。今後もお気づきのことはぜひご指摘、ご意見いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34件	1件	件	1件	フリーで遊ぶ場所、集まって会をするスペース、個別学習の場所と、明確にわかれている。部屋の名前もついていて、わかりやすい。	療育室に入っすぐ左手に荷物用のロッカーを設置し、仕度をしてから奥の遊ぶスペースに行くように動線を作っております。個室はそれぞれ壁色を変えて色から連想しやすい名前をつけました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36件	件	件	件	いつもキレイだし、いつも職員がおもちゃや使用する道具、場所、設備を消毒するのを見ている。整理されていていつもきれい。	引き続き整理整頓に努め、感染予防対策をしっかりと行いながら安心してお通ひいただける環境作りを行います。
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	35件	件	件	1件	ニーズを十分にヒアリングし、高い目標を持って計画を作成していただいた。事前に希望を記入した紙を提出した上で、さらに1時間の面談で計画を決定している。親の希望だけでなく、普段の子どもの様子から取り組み内容も提案され、有り難い。面談時だけでなく、普段の療育時のフィードバックの時の話しでも聞いてくださり、次週にはすぐ療育に組み込まれています。今まで2回ほど面談をしていただきましたが、それがどのように課題と繋がっているのかがいまい分かりません。毎回最後に行われるフィードバックでサクッと聞けたらいいのですが、部屋が狭すぎて子どもが聞いているので質問が辛い。よく何かあればメールで聞いてください、と言われるのですが、実際メールをする時間も忙しくて取れません。ただ子どもにとってとても良いお教室なのは間違いないので、若干モヤモヤしながらも通わせていただいています。	支援計画は教室が作るものではなく、保護者の方と一緒に作るものだと考えております。今後もしっかりとニーズをお聞き取りしながら計画を作成していきます。支援計画の目標と実際の課題とのつながりがわからないとのこと、説明が不足していたようで大変申し訳ございません。計画の確認の際に丁寧に説明し、具体的な課題の例等を出してイメージがつかやすいような工夫をしていきます。

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32件	1件	件	3件	計画書にそった利用日の活動であり、利用後の面談結果を受けて希望する活動も柔軟に取り入れてくれる。児童発達支援のガイドラインの内容を把握していないため何とも言えない。	ガイドラインについて詳細にご説明することはしておりませんが、個別支援計画の具体的な支援目標の欄に項目を示すようしております。支援計画の交付の際に確認、ご説明するようにいたします。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36件	件	件	件	基本的にいつも支援計画の内容がベースにあり、そこから応用させていく感じだと思う。支援計画に沿って優先順位が上なものから支援してくれる。支援計画に無く、日々の成長の過程で発生した課題なども直ぐに取り入れていただいております。生活の中で子供本人が苦手だと思われる行動について相談すると、すぐに個別療法の時間に訓練として取り入れてくださいます。毎回、計画書にそった内容を行い、できないことを中心にやってくれている。上記の通り親の私には分かりませんが、子どもの成長を見ていると我が子にあった適切な支援がなされているのだと思います。	支援計画に沿って具体的な日々の課題を設定しております。引き続き、計画をもとに支援を行なってまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33件	2件	1件	件	反復して、定着をさせるようにして下さっていた。本人の当日のコンディションに応じて、内容を変えていただいております。本人ができることを選んでやっていたりしています。いつも色々な学習をしてくれています。	ABAのプログラムはくり返し反復することで習得・定着を図るので習得できるまで同じ課題に取り組めます。お子様のその日の状況によってサポート量や達成基準を調整しながら成功経験を重ねていけるように支援します。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	22件	3件	11件	件	他所とのかかわりはないです。同年代同士の親御さんで交流があるとよい。就学相談などしたい。幼稚園に在園しているため、特に問題無いと感じております。	個別支援と小集団の活動を行っており、教室に対してそうした機会のニーズは多くないと思っております。地域のイベント等のお知らせを掲示したり、そうした機会を作るための情報をお伝えします。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35件	1件	件	件	最初に丁寧に説明があった。	契約時に説明させていただいております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32件	1件	件	3件	面談でちゃんと説明されました。毎回1時間は時間を取って、十分な話し合いをしていただいております。	支援計画交付の際に面談の時間をいただいております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	21件	7件	4件	4件	面談では子供の事だけでなく、親としての接し方や工夫の仕方なども教えてくれるし、悩みも聞いてくれます。面談を求めた際は日取りの対応が早く、その際に子供への対応や接し方の悩みに対して、的確なアドバイスをして下さいます。利用当初はあったが、最近はない。こちらから、相談すると家庭でできそうなことを教えてくれる。他の事業所ではそういう親の学びの場があると話をよく聞くので、ぜひやっていただけたら嬉しいです。	教室からの発信として毎月お便り（てらぼけLetter）を発行し、ご家庭での関わり等についてポイントをお伝えさせていただいております。個別のご相談は毎回のフィードバックや面談、ノートを通じてお知らせいただき、お答えを返すようにしております。ペアレント・トレーニングとしての相談会や勉強会の企画を検討してまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34件	件	件	2件	連絡ノートに基本的な事は記載してくれるが、電話してくれる時もある。日頃の子供の様子や変化をこまめに共有していただいております。フィードバックの時間がオーバーしても、親身に聞いて下さいます。いつも誉めていただければ、正直もう行く必要はないのでは？と思って面談していただいたところ、引き止められました。子供がいて話しにくいのは分かるのですが、現在の本人の課題はどうか知りたいです。	セラピーノートや毎回のフィードバック時、電話やメールを活用して保護者の方と課題と様子を情報共有できるようにしております。教室で取り組んでいる課題は基本的にお子様の未習得、不得意なことに対して、スムーズステップをふみ、サポートを入れてお子様が成功できるようにしております。どういった工夫やサポートが必要か、ご説明するようにいたします。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29件	4件	2件	1件	利用日の終わりの面談では十分な活動結果の説明がある。面談は半年に一回あるが、助言などは週一の療育の時間にも話しは聞いてくれる。基本こちらからアクションしない限りお話しはしないです。よく何かあればメールでお気軽に、と言われますが、パソコンをあげる時間もスマホで長文を書く時間も無く諦めています。	毎回のフィードバック時にお話する時間があるため、頻繁な面談の機会は設定しておりません。個別支援計画交付のタイミングで面談を行なっております。セラピーノート、フィードバック、面談、メールでのご連絡等でご家庭での困りごとをお聞かして対応方法を提案したり、一緒に考えていきます。お困りごとや面談のご希望を出しやすくするための仕組み作りを検討いたします。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1件	5件	23件	7件	顔合わせの会があるとよい。悩みごとを相談したい。他のご家庭との交流はありません。保護者同士の交流が持っていると情報交換や情報共有ができてうれしいです。保護者同士の連携支援に必要性を感じていないため、特に問題無いと思います。未経験のためわかりません。	てらびあほけつとの支援の形態上、グループ活動等もなく、保護者様同士の関わりについては特に機会を設定することはしておりません。上記のようにペアレント・トレーニングとしての勉強会や相談会の企画を検討し、保護者の方同士のつながりの機会を提供できるように努めてまいります。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32件	3件	件	1件	いつも十分に相談に乗ってくれる。すぐに対応してくれるし、職員間での共有も徹底されている。子供の事で相談した時に担当の先生だけでなく他の先生にも伝達されていたり事業所全体で取り組んでもらえてると感じた。面談をお願いした際には迅速丁寧に対応していただいております。自分にもう少し余裕があれば、こまめに面談をお願いすればいいのですが、なかなか出来にくい。振替連絡や先生のコロナ感染の報告がメールなのも、今どきは普通なのではと思うが、使い慣れていないため見落としがちです。LINEを主に使っているため、メールを開かない私の問題とも考えられます。	ご意見やご要望に対してできる限り迅速に教室として対応するように努めております。引き続き、お気づきの点やご意見を出していただきやすい関係作りを努めます。教室からの連絡や報告は、できるだけ迅速にご利用の皆様全員にお伝えすることを優先してメールでの一斉送信とさせていただきます。振替や欠席、スポット利用等の利用日時にに関するやりとりは、行き違いやスケジュール管理のミスを防ぐために口頭ではなくできる限りメールで残す形にさせていただいております。ご不便をおかけして申し訳ございませんが、教室の運営上、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34件	1件	件	1件	連絡ノート、電話、メール、面談など、すぐに対応してくれる。 私がメールを見ていないだけで、お知らせやメールの返信は迅速に対応していただいています。	引き続き、メール等も活用しながら必要な情報を素早く周知できるように努めます。また、保護者の方からの発信に対してできるだけ迅速に対応し、意思疎通が十分図れるようにします。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27件	1件	2件	6件	月1回の通信で必要な情報はわかる。 私がメールを見ていないだけで、お知らせやメールの返信は迅速に対応していただいています。	毎月、ご利用の皆様に向けたお便り(てらぼけLetter)と、個別の利用日のスケジュールを配布しております。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	33件	1件	件	2件	職員室は他人には入れないし、徹底されているように思う。	引き続き、個人情報の取り扱いには十分に注意します。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26件	1件	2件	7件	感染症対策は充分されるように感じる。定期的に職員も抗原検査などされているようです。緊急時の対応は面談の時に話されました。訓練はされているのを知らない。	保護者用の閲覧ファイルに入っているため、周知を徹底していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14件	4件	5件	13件	未経験のためわかりません。 訓練をしたとは聞いたことがない。	保護者用の閲覧ファイルに入っているため、周知を徹底していきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32件	3件	1件	件	いつも楽しかった、明日も行きたいと帰ってきます。また、かけるようになったひらがなが増えると、ぼっけで先生に報告しようと言ったり先生方にもなついているようです。とても楽しみにしています。それだけで通わせて良かったと思っています。時々行き渋りがある。先生と遊べることもあり、勉強の時間があるのもとても楽しみにしています。毎回、通所を楽しみにしていることから、先生方も子供の目線になり、親身で丁寧な対応をして下さっているのだと感じています。	ニーズを丁寧にお聞き取りして、適切なサポートをしながらお子様が達成感や充実感を感じられるような支援を提供できるように職員一同努めてまいります。行きしぶり等、通所にあたってお困りのことは気持ちを切りかえやすい工夫等を一緒に考えてまいります。状況等の情報をお知らせください。
	23	事業所の支援に満足しているか	35件	1件	件	件	とても明るく、熱心にご指導いただいている。子供も楽しく通っている様子で成長が見られる。子どもの様子を見て、子どもの能力が伸びるように、様々な活動を考えてくれている。他にも療育の経験がありますが、保護者からしたら一番我が子に合うと思います。フィードバックや連絡帳もぎっしり書いてくれますし、説明やできない事へのアドバイスも子にも親にもしてくれます。また先生間の情報共有もしっかりしているので自分から言い出す練習の時などは、どの先生も暖かく見守ってくれます。教室もいつもキレイで先生が消毒しているのをたびたび目にしますし安心です。通い始めて情緒が安定し、少しずつ自発的に自分の思いを表出できるようになった。連れてきた段階で、眠かったり不機嫌で泣いていたとしても、親に泣き止ませさせるなどはせず、てらびあ先生方は教室のドアを入ったら、コチラの管轄、という感じで、先生方は笑顔で「お預かりします」とおっしゃって、ここでのことは任せてください！というプロの気概を感じる対応をされます。他の事業所でもお世話になっておりますが、このような一貫したプロ対応はてらびあさんくらいしか知りません。子どもは毎回通所をとても楽しみにしています。こちらに通い始めてから出来なかったことがたくさんできるようになりました。先生方の対応がとても温かく丁寧でいつも感謝しております。先生方のおかげで毎回楽しく通えます。今後ともよろしく願っています。先生方の入れ替わり(退職)なども特に無く、子供の変化や成長と一緒に見守り伸ばして下さっていることに感謝の気持ちでいっぱい입니다。今後ぜひ、通所を継続させていただきたいです。	日頃から保護者の皆様にはさまざまなご協力をいただき、誠にありがとうございます。大切なお子様の大切な時間を託していただくことに感謝申し上げます。職員一同、お子様とご家族皆様の生き生きとした笑顔が増えるように、より一層の療育の質の向上に努めてまいります。引き続き、ご意見やご要望をお知らせください。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 1 月 4 日

事業所名 てらびあぼけっと 住吉駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件	件	4つ目の個室は相談室を個室として利用する等して環境の差が少ないように工夫している。課題内容によって相談室を使ったり、療育室を仕切って使ったり、使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	6件	件	正社員が増えたことにより余裕ができた。	職員によって担当できるお子様の人数の不均衡があるので、負担が偏らないようにしていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6件	件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件	件	消毒を徹底している。毎朝掃除の時間を設けている。	おもちゃ棚が気になる場面で隠せるような布があると良い。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4件	2件	疑問点があればあげられるようになっていく。	担当者間のミーティングの時間を確保し、振り返りと次の目標を検討することができるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件	件		アンケートの結果から現状を見直し、改善すべきものを優先順位と目標を決めて取り組む。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6件	件	ホームページに公開し、てらびあぼけっとLetterとメールでお知らせしている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件	件	計画通り、今年度受審した。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件	件	外部の研修案内をチェックして参加希望を募り、業務を調整して参加できるようにしている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件	件		引き続き、他機関の発達検査の結果等の情報も参考にしながら支援計画を作成するようにする。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件	件	本部の定まったものがある。	本部から更新の通知がタイムリーに届かないことがあるので、定期的に確認するようにする。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6件	件		個別支援計画交付の際に、具体的な支援目標がどの項目にあたっているかを確認するようにする。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件	件	担当者間でも見直しを行うことができている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4件	2件		担当者間でミーティングの時間を確保できるようにする。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件	件	1日の流れは同じでも毎月歌を変えたり、リズムワークの動きが固定化されないように工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6件	件		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件	1件	小集団のリーダーや使用する個室をボードで掲示して全員が確認できるようにしている。打ち合わせに十分に時間が取れない場合を想定して各児童のファイルに次回の引継ぎ事項を記入するようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件	件		一人当たりの持ち時間を決めて、要点をまとめて報告、振り返りができるようにしている。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件	件			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件	件			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件	件	日時の都合で児発管が参加する場合でも、担当者が担当者会議の資料を作成するようにしている。		

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件	件	担当の保健師の方とつながりを持っておくようしており、必要性がある時に保健所に連絡し、連携が取れるようにしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	件	該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	件	該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件	1件	園からの要請で通所証明書を作成したり、保護者の方を通して面談での話題を共有していただいている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件	件	就学支援シートを作成している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4件	2件		研修案内があった時に職員を出せるように教室の予定を調整する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	件	6件		地域のイベントなどの情報提供を行う等、機会を作る支援を行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	件	6件	江降連のメンバーと連絡を取り、活動に参加する機会を依頼している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6件	件	毎回のフィードバックやセラピーノートのやりとりで情報共有できるように努めている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3件	3件	フィードバックの際に伝えたり話したりしている。毎月のてらほけLetter!には教室で行なっているプログラムの解説や、お子様への関わりのポイントをお伝えしている。	教室全体の企画として機会を作ることを検討する。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件	件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件	件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件	件		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	件	6件		ニーズがあるかどうかを調査し、結果によって検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6件	件		
非常時	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6件	件		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件	件		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件	件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	6件		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5件	1件		実際にお子様と一緒に訓練を行なうようにする。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3件	3件	年に2回の避難訓練を行なっている。	外部の専門機関の研修に参加する等して非常災害時の対応訓練を行う。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6件	件			

同等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件	件		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件	件	ヒヤリハット集に記入したものを職員全員が目を通し、回覧するようにしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	件	東京都の研修に担当者が参加し、教室で伝達研修するようにしている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	件		